

コウノトリ翔る但馬まるごと感動市への参加



オープニングステージ



電業協会のブース

但馬まるごと感動市実行委員会主催の「平成30年度コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」が平成30年11月10日（土）及び11日（日）の2日間、神鍋高原の全但バス但馬ドームで開催されました。

この事業は自然環境や地域産業など但馬ブランドや地域づくりに向けた取組を情報発信するとともに、様々な資源を活用したツーリズムを推進するため、「見て」「食べて」「楽しんで」の「食・物産・観光」をテーマとした集客・交流空間として平成12年から開催されているものです。

感動市では、例年好評の但馬牛の焼き肉をはじめ新鮮な海の幸と山の幸、スイーツのお店が並ぶほか、地元小学生の金管バンドのステージ、VR（仮想現実）やボルダリングの体験イベントなど今年度も多彩な催しが展開されました。

当協会は、実行委員会の要請に基づき、事業推進のボランティア活動に参加しました。今年も会場清掃を担当し、但馬地区の10会員・10名が協会名の入ったスタッフジャンパーを着用して会場のゴミの分別・収集作業に従事しました。

また、ボランティア参加団体にはPR用ブースが用意され、当協会は4Kテレビや太陽光発電モジュールなどの展示を行うとともに、のぼり旗の設置や協会広報用のポケットティッシュを配付して、兵庫県電業協会の「高度な電設技術で安心・安全な社会づくり」に向けた公益活動を広くPRしました。



除雪車やご当地キャラも登場